

生存圏学際新領域の開拓に向けた『萌芽ミッションシンポジウム』

日時：平成17年3月3日（木）午後1時～5時45分

場所：生存圏研究所木質ホール3F

プログラム

- 13:00 挨拶 松本 紘（生存圏研究所長）
- 13:05 – 13:15 センターの活動概要 川井 秀一（生存圏学際萌芽研究センター長）

ミッション専攻研究員による研究成果の発表

- 13:15 – 13:35 植物を用いた内分泌攪乱物質の環境浄化技術の開発
廣岡 孝志
- 13:35 – 13:55 Radar imaging as a means to study turbulence generation mechanisms and transport
Gernot Hassenpflug
- 13:55 – 14:15 保存処理木材に由来するホウ素の環境内挙動
中山 友栄
- 14:15 – 14:35 スギからエタノール ～白色腐朽菌とマイクロ波による前処理～
田邊 俊朗
- 14:35 – 14:55 アカシアマンガウム樹皮中の栄養塩および微量元素の分析と林地還元性の検討
小林 正彦
- 14:55 – 15:15 Statistical properties of intense geomagnetic storms based on extreme value theory
坪内 健
- 15:15 - 15:30 休憩

萌芽ミッションプロジェクト研究報告

- 15:30 – 15:45 熱帯樹の成長輪解析に関する基礎研究
津田 敏隆（京都大学生存圏研究所）
- 15:45 – 16:00 マイクロ波照射による植物遺伝子の発現変動に関わる分子生物学的解析
矢崎 一史（京都大学生存圏研究所）

- 16:00 – 16:15 生物多様性を目指した人工林の特性評価
野淵 正（京都大学農学研究科）
- 16:15 – 16:30 宇宙用導電性木質材料の開発
小嶋 浩嗣（京都大学生存圏研究所）
- 16:30– 16:45 宇宙太陽発電のための自己放熱性木質系炭素基板材料の開発
畑 俊充（京都大学生存圏研究所）
- 16:45 – 17:00 乾燥状態での木材の生分解利用をめざした乾材シロアリの食材機構の解明
東 順一（京都大学農学研究科）
- 17:00 – 17:15 化石資源制約下における生存圏シミュレーションプログラムの開発
大村 善治（京都大学生存圏研究所）
- 17:15 –17:30 森林が生産する化学物質を介した動物との応答機構の分子生物化学的研究
浅岡 一雄（京都大学霊長類研究所）
- 17:30 –17:45 伝染病に対する気象・気候因子のインパクトに関する統計的研究
- バングラデシュのコレラなどの下痢疾患を例として -
林 泰一（京都大学防災研究所）
- 17:45 閉会の挨拶 川井 秀一